

平成23年度 第1回磐田市青少年問題協議会 会議概要

日 時 : 平成23年7月7日(木) 午後3時~午後4時30分
場 所 : 磐田市役所西庁舎3階301 - 303会議室
出席者 : 市長、小木委員、三輪委員、松山委員、河合委員、鈴木眞委員、
吉田委員、鈴木隆委員、鈴木亨委員、佐野委員、榎本委員、山内委員
(欠席者:教育長、寺田委員、村松委員、杉本委員、清泉委員)
(代 理:松嶋委員(海野生活安全課長))
事務局 井原課長、青島主査、天野主査、鈴木指導主事

議 事

(1) 磐田市における最近の少年非行の概況等について

(磐田警察署 生活安全課長)

磐田市内の学校を回っていますが、状況は今のところ問題ないのではないかと考えています。これは、まちぐるみで少年補導等に取り組んでいる成果だと考えます。磐田市における少年非行は、検挙が44人、前年比4人減、内訳は男性35人、女性9人、窃盗が約8割となっており、入り口犯罪がほとんどです。少年補導では、378人、前年比13人増、男性7割女性3割で深夜徘徊、外出、喫煙などです。これらの数字は警察が関与した件数なので、実際にはもっと多くなっていると思います。ただ数字だけではなく、1つ1つの少年問題や行動を見極めて対応していくしかないと思っています。県内でも各地域によってそれぞれ問題がありますが、大問題には至っていません。磐田では磐田駅前まで連夜少年たちがたまり場を作って苦情が寄せられることがありましたが、警察で警戒をし、今では無くなりました。少女のわいせつ被害が4月から起きており、捜査をしていますが、事件は未解決です。これらの場合は心の傷、問題が残ってしまいます。それから、学校にお願いしていることは、自転車の施錠です。施錠率が低く、盗まれた自転車の多くが施錠していない自転車です。磐田市内5高校と東中で自転車の鍵をかけるキャンペーンを行いました。自転車の盗難は出来心で盗む場合が多く、自転車を盗ませないことも大切になります。

これから夏休みに入り、少年は開放的になっていきます。皆様と情報交換等をしながら、少年非行の防止に努めていきたいと思っています。

(2) 青少年健全育成への取り組みについて(事務局)

青少年健全育成会連合会では、各支部による取り組みを尊重する方向で活動をしており、キャンペーンや大会などを通じて広く周知しているところです。磐田支部は、各地区で自治会を中心に取り組んでいるのが特徴です。福田支部はA S O K運動など学校と連携して取り組んでいるのが特徴です。竜

洋支部は39の自治会が中心となって学習教育活動をしているのが特徴です。豊田支部は中学生年代の育成などに特徴があります。豊岡支部はあいさつ運動や地域のふれあい、祭典参加などに積極的に取り組んでいます。

通学合宿は、お寺や公会堂で宿泊し学校へ行く取り組みで、4ヶ所で行われています。上級生が下級生の面倒を見たり、地域ボランティアの方々が参加されたりしています。

少年補導センターは、一斉補導や立入調査などに取り組んでいます。

時代の変化に対応しながら、地道な活動を続けています。

会長 ありがとうございます。ご意見やご質問をお願いします。

委員 最近、合法薬物といったものがあるようだが、状況は。

委員 今のところは多くなく、あまり取り立てて問題としなくてよいと思っています。最近変わったのは、シンナー遊びがほとんどなくなりました。

会長 意見交換に移りたいと思います。考えていくと、家庭問題に行き着く感じがしています。どういう行政の取り組みが必要なのか、何かヒントがほしいと思っています。例えば、ある時間になったらテレビのスイッチを消す運動とか、学校で取り組めないか、地域の運動として発展していけないか。活発なご意見をお願いします。

委員 社会教育委員会が家庭教育について教育委員会に提言をしました。社会教育としての取り組み、青少年健全育成の活動、声かけ運動、早寝早起き朝ごはんなどわかりやすい言葉で働きかけをしていくため、手づくりのさっちゃんポスターを作成しました。呼びかけが運動へと繋がるように、ポスターが目に触れるといいと思いますし、根気強くやっていくことが必要かと思います。社会教育委員会の役割もお知らせしていくようにしたいと思います。家庭教育のネットワークづくりが大切であると考えているので、ネットワークの構築を進めたい、人材の活用が社会教育へとつながればと思います。また、地域の伝統行事に参加を促していきたいと思います。

会長 それぞれの立場で、ご意見をお願いしたいと思います。

委員 こどもたちは朝食を食べていますか。状況は。

委員 2 - 3%は食べて来ない子がいます。ほとんどの子が食べています。

委員 アンケートの結果では、静岡県では96.9%の子が食べているようです。静岡県は良い方ではないかと思います。

会長 実態はどうなのでしょう。

委員 90%以上の子が食べているようです。運動部で朝練習がある子などは、学校で食べている子もいますが。

委員 朝ごはんの中身が大事かと思います。アンケート調査も今後は朝食の中身を見ていくことが大切かと思います。

委員 子どもたちも寝る時間が遅かったり、お母さんが忙しくて朝食が作れないこともあるようだが。

- 委員** 学校の地域性によっても、だいぶ違います。子どものことだけではなく、親の仕事の都合や経済状況、価値観の多様さなど、問題の解消はなかなか困難です。家庭によって違いますので、解決策はなかなか見当たりません。
- 会長** 何らかの形で、週1回とか月1回とか何か取り組んでみたい、実態に活かしたような運動ができればと思います。
- 委員** 話を聞いてみると、母親に問題があるケースもあるようです。
- 委員** 子どもが言うてくる話を100%信じて、学校に言うてくる場合があります。事実と違うケースもあるし、話が水かけ論になることも多い。教員を支援するような取り組みも必要になりますし、もっと夫婦仲を良くしてほしいとも思います。
- 委員** 家庭による格差もあるような気がします。昔は家風があったかなと思います。昔と常識が変わってきている気がします。経済不況もあったりして、結婚感も変わってきているような気がします。震災の影響もあったりして、元の日本の常識論に戻っていくように思います。
- 委員** ある時間になったらテレビのスイッチを切る運動は賛成です。こどもたちは携帯にも依存しています。携帯もある時間になったらやらないことにしていますが、なかなかできない。何かわかりやすい取り組みが運動としてできたらと思います。
- 会長** 豊岡ではごはんだけ弁当を持ってくることをしていました。三島市でもやっていることを聞きました。
- 委員** 当時は愛情弁当とか言って、視察も多くありました。
- 委員** 豊岡の子どもたちは昔からそうでした。今の保護者の方々を説得するのは、それなりの理由が必要です。単に愛情だけではだめなようです。運動会などでレギュラーや代表を決めるのに配慮が必要になります。
- 委員** どうしても自分の子どもが中心になってしまうからでしょう。
- 委員** 子どもの意向を尊重するようになり、やるのがいやな子に無理やりはやらせなくなりました。中学では部活動など指導者に対するクレームは多いです。子どもの名前の呼び方に関しても呼び捨てにしなくなってきました。
- 委員** 通学合宿に取り組んでいますが、保護者は実行委員に入っていません。地域の人たちが自分の得意なことをやってもらおうようにしています。子どもたちの世話は確かに大変ですが、子どもが大きくなっても顔を知っているので、その後のつながりがあり、成長する姿も見られるので良いと思います。他の地域でも取り組んでほしいと思います。
- また、自分の子どもが学校に行っているときは関心があるが、行かなくなると関心が持てなくなる。学校から地域に対して、特に子どもが学校に行っていない人に対して、学校の様子をもっと伝えてほしいと思います。
- 委員** 経済状況もあって、高校生が社会に出て行く現状はきびしいものがあると思います。現状を嘆いていても始まりませんので、あいさつやそうじ、服装、校歌といった取り組みを積極的にしています。このようなことも体で覚えて

いかないと、社会に出てもむずかしいと思っています。子どものことで学校に来る親に対しては相談にのっていますし、クレームのようなものであっても対応次第で味方になってくれることもあります。

委員 時代が変わったと感じています。余分なことはしたくない大人が増えました。通学合宿も昔は別に役員がやったわけではありません。また昔は役員が男性のことが多かったですが、最近は女性しか役員のいない地区もあります。親同士が知らないので、他の人の子どもを叱れなくなりました。人間関係がむずかしくなってきたように思います。

会長 解決策はなかなか見つからないようです。まちづくりは長い年月がかかります。これから2年間、皆様には協議会委員としてお世話になります。今後も貴重な意見をお願いします。

(以上にて議事終了)